

令和4年度 山形のみちづくり評議会

【議事要旨】

■ 日時・場所

令和5年3月14日（水）14：00～16：00（山形県自治会館 201 会議室）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、大泉委員、津藤委員、宮原委員、工藤委員、橋本委員、小林委員 8名

■ 議事概要

議題1 令和3年度 道路事業の達成度報告

（事務局説明）

- ・ 事務局より議題1に関して、以下の説明を行った。
 - 1)令和3年度 達成度報告書 資料1
 - ・ 計画に掲げる19指標のうち10指標で進捗が見られた。
 - ・ この度、進捗に変化がなかった指標についても、今後の高規格道路の開通により進捗が見込まれる。
 - ・ 全体的に概ね予定どおり取組みが進捗している。
- ➡令和3年度達成度報告書について委員より意見を頂いた。

議題2 「道路中期計画2028」策定以降の情勢の変化について

（事務局説明）

- ・ 事務局より議題2に関して、以下の説明を行った。
 - 2)山形県道路中期計画2028策定以降の情勢の変化について 資料2
 - ・ 山形県を取り巻く現状と計画策定後に顕在化した課題等を説明し、計画の拡充が考えられる内容を提示した。
- ➡「道路中期計画2028」策定以降の情勢の変化について委員より意見を頂いた。

■ 令和4年度 山形のみちづくり評議会における主な意見

各議題について、以下のような意見が挙げられた。

議題1 令和3年度 道路事業の達成度報告について

(1) 交通安全対策について

- ・ 交通安全に関わる事業は重要である。まずは、中間目標達成に向けて関係機関と連携して取り組んでほしい。

(2) 広域道路ネットワークについて

- ・ 東北中央自動車道などの縦軸の整備が進む中、広域道路ネットワークはミッシングリンクを繋ぐことで大きな効果を発揮することから、横軸の整備にも力を入れることが重要。
- ・ 東北中央自動車道が最上地域まで繋がったことで、観光面や産業面で効果を感じている。

(3) 自転車利用環境の整備について

- ・ 環境面など持続可能な社会の実現の観点からも、しっかりと取り組んでほしい。
- ・ 自転車を電車やバスに乗せられるようになれば、利便性が高まり、利用者の増加に繋がると思う。

議題2 「道路中期計画 2028」策定以降の情勢の変化について

- ・ 道路において自然エネルギーの利活用の視点も今後重要ではないか。
- ・ 東日本大震災時は、国道47号や国道113号などの横軸道路が関東圏からの物資を日本海側から太平洋側へ運んだところであり、災害への備えにおいてもこれら横軸道路の整備は重要。
- ・ 県内区間の道路整備も進んできている中、物流など広域的な交通を支えるためにも、県境部の早期整備も重要。
- ・ 物流の視点で考えると、災害等の有事の際に通行止めとなった路線の開通見込みの情報について迅速かつ正確な発信は非常に重要である。
- ・ ひと昔前では、道路は自動車が使うものだ意識されていたと思うが、今後は、電動キックボードや自動運転などの多様なモビリティを、まちなかの道路で対応させていく必要があると思う。

以上